

平成 26 年 5 月

会員 各位

歯科医学教育研究を議論する研究集会

世話人 小川 哲次

### 第 3 回歯科医学教育研究を議論する研究集会(2014)の開催について (ご案内)

今回、第 33 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会主催の九州歯科大学(大会長)のご厚意により、総会および学術大会の前日(7月3日(木):9:00~12:00 予定)に、**第 3 回歯科医学教育研究を議論する研究集会(2014)**を開催する運びとなりました。

「歯科医学教育研究を議論する研究集会」は、日本歯科医学教育学会常任理事会のご理解のもとに、歯科医学教育の質的向上に関心のある会員の方々や有志とともに、欧米並びにアジアの医学・歯学教育研究者と連携を取りながら、*Best evidence for education* のための教育研究の質向上を目指す自主的な集会(勉強会)です。

これまで、第 1 回研究集会では「教育研究における Research Question の立て方から実施まで」、第 2 回研究集会では「言語データ(符号化データ)の取り扱い方とその質的な分析手法」について、それぞれ議論し、教育研究のあり方や手法についての情報共有をはかることができました。

今回は、第 2 回に引き続き、言語データ(符号化データ)の取り扱い方その 2 として、量的な分析法であるテキストマイニングをとりあげ、参加者とともに議論することにいたしました。

学術大会前日の午前中からの開催ではありますが、ご関心並びにご興味のある会員の皆様のご参加をお待ちしています。

### 第3回歯科医学教育研究を議論する研究集会(2014)

1. 対象者： 日本歯科医学教育学会会員並びに歯科医療者養成機関の教職員・学生など
2. 募集人数： 20名程度
3. 開催日： 平成26年7月3日(木) 9:00~12:00(12:30)
5. 会場： 九州歯科大学 4階講義室(予定、変更有)
6. アドバイザー： 田口 明(松本歯科大学)、伊藤 孝訓(日本大学松戸歯学部)、  
(メンター) 田口 則宏(鹿児島大学)、大西 弘高(東京大学)、大山 篤(神戸製鋼所)
7. 世話人： 馬谷原 光雄(昭和大学)、河野 博史(鹿児島大学)、小川 哲次(広島大学)
8. 開催テーマ： 「量的・質的研究のために必要な言語情報とそのハンドリングは? 2」  
ーデータの収集と量的な解析ーテキストマイニング(言語統計)ー
9. 講師： 林 智 先生 金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士後期課程  
金沢電子出版株式会社 取締役副社長

#### 10. 内容とスケジュール：

- |  |     |
|--|-----|
| 開講 趣旨説明                                | 10分 |
| 1) レクチャー：                              |     |
| 「医学教育研究における質的・量的計測の概要と理論 ー過去の文献からー」    | 20分 |
| 2) デモ： 文章の質的・量的計測結果から読み解く文章種類の推定       | 20分 |
| 3) 体験： テキストマイニングの実際                    | 40分 |
| 4) 議論： 体験分析結果の検討                       | 20分 |
| 5) レクチャー： 解説                           | 10分 |
| 6) 議論： 今日の内容に関する質問、研究課題と言語情報ハンドリングについて | 30分 |
| 閉会                                     | 10分 |

(約1時間ごとに10分の休憩をはさみます)

#### 11. ご持参いただきたいもの：

- ・ノートPC (Windows OS)
  - ・空のUSBメモリ (2GB以上)
- \*体験はグループ単位ですすめますので、PC等ご準備いただけない場合でも同じグループの方と画面を共有していただくことができます。

#### 12. 参加費用： 参加者の負担はありません。

参加申し込み： 参加申し込みフォーマットに記載し、6月27日(金)までに、メールにてお送りください。

あて先： 小川 哲次 [tbach@hiroshima-u.ac.jp](mailto:tbach@hiroshima-u.ac.jp)

7月3日の夜に、懇親会の開催を予定しております。時間と会場が決まりましたら、ご案内します。